ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成28年12月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより 12

2016年
DECEMBER
NO.66

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

表紙からMessage

防災緑地植樹祭　育てた苗木を植樹

11月20日、どんぐりプロジェクトの一環で、豊間小の児童たちなどが種から育てたどんぐりの苗木を、豊間･薄磯地区の防災緑地に植樹しました。参加した学校や団体などの代表や地域住民、合わせて約400名が育てた苗木を植樹しました。（P4に関連記事を掲載）

各地区トピックス

大きく育て！防災緑地植樹……2
公民館で芸能発表と作品展示……3
フォトコンテスト開催……4
秋祭り交流会……5
佐糠公民館まつり……6
ふるさとダイアリー……7

ふるさとだよりの記事が動画で!!

COCOAR

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

末続および金ケ沢防災集団移転跡地活用

市では、東日本大震災により津波被害を受けた末続、金ケ沢、江名字走出、錦町須賀地区において市が所有する移転元地（跡地）における「なりわい・コミュニティの再生」を目的とした企業誘致を進めてきました。

末続と金ケ沢地区では、公募により選定された事業者による、住民を対象とした事業内容説明会が行われ、今後は、事業者と市との間で跡地活用事業パートナー基本協定を結び事業が進められる予定です。

秋の褒章を受章 久之浜・大久地域づくり協議会

海岸清掃やハマエンドウの植栽保護など環境美化奉仕活動を続けている久之浜・大久地域づくり協議会（木村芳秀会長）に社会奉仕活動功績で緑綬褒状が贈られました。「会員だけではなく、地域の皆でいただいたものと思っています」と木村会長。11月15日、国土交通省での褒章伝達式と皇居での拝謁（はいえつ）も行われました。

会員を代表し、褒章伝達式に臨む木村会長

大きく育て！防災緑地植樹

10月27日、盛土工事が進む防災緑地で久之浜一小6年生24名、久之浜二小5・6年生7名を含む、地区のみなさん計50名が参加し、植樹が行われました。

この日植えられたクロマツやクヌギなど約800本の苗づくりが行われたのは3年前。文部科学省理科支援員でもある吉岡榮一東町区長の指導で、一小と二小両校の児童と久之浜・大久地区復興対策協議会の役員らが、ペットボトルや育苗ポットに一緒に種を植え、校庭の一角で大切に育ててきました。

植えられた苗木が成長し、防災緑地本来の役割を果たすようになるまで数十年かかると言われています。児童らはスコップを使い、木々が町を安全に守ってくれることを願いながら植樹を行いました。

現在の中学2・3年生が種を植え、育てた苗木を後輩たちが植樹

植樹終了後、両校の校長先生を交えて記念撮影

久之浜・大久ピックアップ

キビタンと遊ぼう！

11月4日、久之浜保育所に県の復興シンボルキャラクター・キビタンがやって来ました。子どもたちはキビタンと一緒に体操などをして楽しみました。

キビタンと一緒に楽しく体操

総合防災訓練

11月5日、市総合防災訓練が行われ、久之浜・大久ふれあい館への津波避難訓練後、防災講話を実施。その後、防災備蓄倉庫などの防災設備も見学しました。

備蓄倉庫を見学する参加者

久之浜二小おでかけアリオス

11月14日、久之浜二小でお出かけアリオス打楽器ワークショップの発表会が行われ、1・2年生が全校生徒と地区のみなさんの前で練習成果を発表しました。

練習成果を元気に発表

ふるさとの未来へ向けて

原子力防災訓練を実施

10月29日、四倉地区と川前地区で、市原子力防災実動訓練が行われ、このうち四倉地区は自主防災組織の役員、民生・児童委員、消防団員、地区住民など210名が参加しました。

参加者は、地区ごとの図上訓練で作成した「地区原子力災害避難計画」に基づき、四倉高、四倉小、大浦公民館などの一時集合場所に集まり、バスで仮想避難所の中央台公民館へ移動後、バスの車体や参加者へのスクリーニング訓練などを行いました。

避難の際に使ったバスの車体をスクリーニング検査する訓練

四倉高校に集合し、バスに乗って仮想避難所へ移動する参加者

公民館で芸能発表と作品展示

第43回四倉地区市民文化祭が、11月3日及び12・13日の3日間にわたり、四倉公民館で行われました。

11月3日の芸能の部では、公民館で活動する舞踊、合唱、太極拳などのサークルによるステージ発表のほか、四倉中の合唱コンクールで最優秀賞を受賞した3年4組や吹奏楽部も出演。息の合った歌声や演奏を披露しました。

11月12・13日の展示の部では、絵手紙、絵画、陶芸、川柳などのサークルが日頃の活動のなかで制作した作品を展示し、来場者の目を楽しませました。また、会場には四倉地区の子どもたちによる絵画や書写などの展示コーナーも設けられ、保護者のみなさんが我が子の作品に見入っていました。

公民館のホールに展示された作品を鑑賞する来場者

ステージで行われた芸能発表のひとつ、太極拳の演舞

四倉ピックアップ

元気いっぱいに学習発表会

10月29日、大浦小で学習発表会が開かれ、児童たちはこの日ために練習してきた劇や運動、音楽などを発表し、保護者席からは温かい拍手が送られました。

「おばけじぞう」を演じた一年生

19チームが舞い踊る

11月13日、「いわきDE YOSA来い！秋祭り2016」が道の駅よつくら港で開かれ、市内外から19のチームが参加して、力強い踊りを披露しました。

華麗な衣装で踊る参加者

約7kmをウォーキング

11月27日、「第14回大浦ふれあいウォーキング大会」が行われ、大浦小をスタートした70名の参加者は、交流を深めながらゴールの大浦公民館を目指しました。

自分のペースでウォーキング

ふるさとの未来へ向けて

どんぐりプロジェクト 豊間・薄磯防災緑地植樹祭

11月20日、豊間地区及び薄磯地区の防災緑地造成地で、豊間地区では230名、薄磯地区では180名の参加により植樹祭がそれぞれ行われました。

親子連れの参加も多く見られた植樹祭

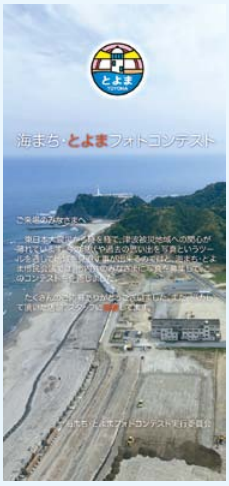
今回植樹された苗木は、高台を造成し、伐採してしまう木々のDNAを残して欲しいという思いに応えるため、3年前に里山から採取した苗木や種を、市内外の学校や家庭などで育てたもの。植樹は関係団体や住民たちによって行われました。

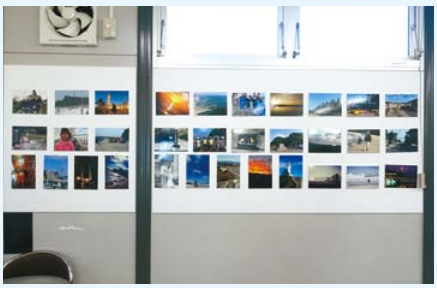
行政関係者やボランティア含め、豊間地区230名（上）、薄磯地区180名（下）の参加者

海まち・とよまフォトコンテスト開催

11月19日から「第1回海まち・とよまフォトコンテスト」の作品展示が始まりました。応募総数83点の中から実行委員会で選考された50点を、とよマルシェ内の豊間屋店内に展示しています。

来場者による投票で決まる賞や震災前の地域の営みや、圧巻の風景写真などの中から、訪れた人たちは1作品を選ぶのに迷っている様子でした。なお、展示は来年の1月29日まで行われています。次号では入賞作品と表彰式の模様を紹介する予定です。




惜しくも選考から外れた作品も、小さいサイズで展示

市内外からの来場者もあり初日から賑わう展示会場

平ピックアップ

塩屋埼灯台無料公開

11月3日、148周年灯台記念日行事と市制施行50周年記念事業として、塩屋埼灯台一般特別公開を行いました。入館料が無料となるほか、夜間にも公開されました。

クイズなどで灯台の知識を深めた参加者たち

17～19時まで初めての夜間公開を実施

豊間公民館まつり

11月6日、豊間公民館まつりが開催され、市民講座の成果発表や地域の伝統芸能の披露などで賑わいました。

沼ノ内の子ども獅子舞

ふるさとの未来へ向けて

小名浜地区 まちづくり懇談会の開催

11月18日、まちづくり懇談会が小名浜潮目交流館で開かれました。小名浜地区の住民が「ひと・まち・未来が輝く小名浜へ」をテーマに、清水敏男市長や市の関係部長と意見交換をしました。

あいさつをする小名浜地区行政嘱託員連合会の金成克哉会長

津波避難ビルを使用した避難訓練を実施

11月5日、地震による津波発生を想定し、津波避難ビルに指定されている小名浜二小で、市総合防災訓練が行われました。近隣から約80名の住民が参加し、防災講話後、市職員が仮の蹴破り戸を使ってデモンストレーションし、参加住民は熱心に見入っていました。

蹴破り戸の打ち破り方法を実際に行ってみせた市職員

県営下神白団地 市公営永崎団地 秋祭り交流会

11月27～29日、県営下神白および市公営永崎団地で、秋祭り交流会が開催されました。

27日は永崎団地で、復興支援を行っている神戸の「NPOよろず相談室」のみなさんと共に来訪した、大阪のパフォーマンスユニット「ケセランぱさらん」の指導のもと、団地内の子どもたちを中心に、アフリカンドラム作りを実施。作成後は、完成したドラムを鳴らしながら、大人たちも一緒に集会所周辺を練り歩きました。

また、28日は下神白団地、29日は永崎団地で、なみえ焼そばの販売や、ケセランぱさらんによる音曲パラダイスショーが行われ、両団地は連日賑わいを見せ、交流を深めていました。

大好評のなみえ焼そばは、連日完売

アフリカンドラム作りをする参加者

小名浜ピックアップ

吹奏楽で交流会

11月5日、江名中吹奏楽部による秋のミニコンサートが、市公営住宅永崎団地集会所で行われ、演歌や応援歌などをアレンジした曲が披露されました。

演奏に聴き入る参加者

楽しい発表会

11月25日、江名幼稚園の生活発表会が行われ、うさぎ・ひまわり・そら組の園児たちが、これまで練習を重ねた歌やダンス、劇などを披露しました。

ひまわり組園児による合奏

クリスマスツリー点灯式

11月26日、いわき・ら・ら・ミュウの中央広場で白百合幼稚園児による、クリスマスツリーの点灯式が行われ、園児たちは、合唱も披露しました。

点灯されたツリーと園児たち

ふるさとの未来へ向けて

「勿来かるたんか」イベント実施に向けて

11月28日、第20回勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業が、勿来の関公園「吹風殿」で行われました。

応募作品から選ばれた40首の短歌をもとにした、かるたのデザイン制作が進み、その一部を確認。また、1月に同会場で実施を予定している、かるたの大会に向けて、席の配置やタイムスケジュール、1試合の所要時間の計測など、当日の具体的な内容について話し合いました。

土砂災害に備えて大高地区で防災訓練

11月5日、市総合防災訓練が行われ、勿来地区では大高地区を対象に、地震による土砂災害発生を想定した訓練となりました。大高公民館へ避難した近隣住民に避難物資が手渡された後、防災講話を実施。また、同地区の自主防災会により、炊き出し訓練と図上訓練も行われました。

自主防災会により用意された、豚汁とアルファ米の非常食

出会い・ふれあい・つながる笑顔

佐糠公民館まつり

佐糠公民館まつりは、民間が運営主体の公民館として開催されていましたが、震災以降は人手不足などにより、実施を断念していました。

今年11月13日「5年に1度行われる、佐糠八幡神社の例大祭のほかにも、地域を盛り上げるイベントをやろう」と、震災後初となる公民館まつりが開催されました。地区の婦人会による食堂や、子ども向けの縁日コーナーなどが行われたほか、よさこいやフラダンスなどのステージイベントも実施され、来場者を楽しませました。

来場者も楽しく参加した、湯本高校フラダンス部による華麗な踊り

焼きそばや産直野菜などを販売する「お楽しみ広場」は大盛況

勿来ピックアップ

ホールに響く見事な音色

11月6日、第33回うえだバンドフェスティバルが、勿来市民会館で行われました。植田地区に所属する、6つの小・中・高校の吹奏楽部による演奏が披露されました。

心をひとつにした全校合奏

交流を深めて詠む一句

11月8日、なこそ交流スペースで活動する、岩間町・浪江町サロン参加者による、お出かけサロン歴史散策交流会が実施され、勿来の関公園「吹風殿」で川柳大会が行われました。

思い思いの句を詠む参加者

ステージを飾る芸能発表

11月13日、勿来地区市民文化祭芸能祭が、勿来市民会館で行われました。勿来地区のサークルによる舞踊や民謡などが披露され、日頃の活動の成果を発表しました。

美しい音色を奏でた尺八演奏

ふるさとダイアリー

久之浜・大久

文化の日の催し

11月3日、久之浜・大久ふれあい館で第19回久之浜・大久地区市民文化祭・芸能の部が開かれ、15の団体とグループが練習の成果を発表しました。

同日、市海竜の里センターでは第10回こども祭りが開かれ、小学生以下の子どもたちに遊具が無料開放され、秋晴れのなか、多くの来場者で賑わいました。

子どもから大人まで楽しんだ市民文化祭

こども祭りのオープニングは華麗なフラダンス

四倉

6年生がそば打ち体験

11月24日、大野そば打ちサークルが、約6年前から実施している大野一小での体験教室を開き、6年生7名がそば粉をこねたり麺棒で伸ばしたりして、そば打ちに挑戦しました。

そば打ちを教わる児童たち

四倉で奥会津気分

11月26・27日、道の駅よつくら港のふれあい広場で、奥会津との交流祭「海山味寄港（うみやまあじきこう）」が開かれ、三島町や柳津町、昭和村などの物産品が販売され、たくさんの来場者で賑わいました。

物産品を買い求める来場者

平

市総合防災訓練

11月5日、市内各所で防災訓練が行われ、平地区でも、豊間・薄磯・沼ノ内で津波避難訓練を実施しました。防災無線から訓練開始の放送が流れ、住民たちは一時避難所へ移動後、沼ノ内地区は神谷作地区と合流し、二次避難所で炊き出し訓練を実施。薄磯地区では、二次避難所で震災講話を聞いた後に、備蓄倉庫の備品を確認しました。

備蓄倉庫の備品や食料などを確認する参加者

備品の担架を組み立てる訓練も実施

勿来

笑顔いっぱい 奇跡のショー

11月1・2日、被災地の学校支援を行っている「ヤングアメリカンズ」によるワークショップが、南部アリーナで行われました。参加した植田中1年生は、キャストと一緒に歌とダンスのショーを創り上げ、最終日の夜には、保護者を招いて2日間の成果を堂々と披露しました。

交流する生徒とキャスト

大迫力の演技で観客を魅了

震災後初の一般公開

11月12・13日、磐城農業高の文化祭「磐農祭」が開催され、13日は7年ぶりとなる一般公開が実施されました。地元でも有名な大イベントの復活に、たくさんの人が足を運びました。

趣向を凝らした生徒たち

小名浜

スポーツフィッシングに挑戦！

11月6日、江名体育協会主催のニュースポーツ大会が、江名港で行われました。参加者は、2人1組で釣りに挑戦し、釣った魚のうち3匹を選び、総重量で順位を決定。今年は23組が参加し、大物の魚が釣れるたび、歓声が上がりました。

真剣な表情をみせる参加者

魚を釣り上げて満足顔

いわき市 ふるさとだより 第66号 平成28年12月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぢゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

旧いわきサンマリーナ 震災後初となる一部開放

旧いわきサンマリーナ(小名浜港剣浜緑地)は、震災による津波被災で、桟橋やクラブハウスなどが甚大な被害を受け、震災後から立ち入り禁止となっていました。

平成25年9月から、緑地や駐車場、遊歩道、釣り桟橋の復旧工事に着手。今年10月に工事が一部完了したため、県は同月15日から、約5年7ヵ月ぶりに一部を開放し、使用が可能になりました。

【開放時間】

7～8月	8:30～18:30
12～2月	8:30～16:00
その他の期間	8:30～17:30

※開放時間以外は出入り口が施錠されます

【問い合わせ】
県小名浜港湾建設事務所管理課
☎0246−53−7141

ふるさと伝言板

おやこもちつき会

日時／12月28日(水)
11:00～
場所／四倉公民館

住まいと暮らしの再建相談会

日時／1月21日(土)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／市文化センター
定員／9組(各時間3組)
◆お申し込みは開催日の3日前まで。

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

合同就職面接会inいわき

日時／1月17日 (火)
13:00～15:00
場所／いわき産業創造館
ラトブ6階　企画展示ホール
参加企業／35社程度
◆参加無料・入退場自由・予約不要
◆雇用保険受給者には、参加証明書を発行します

プレイベント 自分再発見セミナー

日時／1月17日 (火)
10:30～12:30
場所／いわき産業創造館
ラトブ6階　会議室1
【問い合わせ】
福島広域雇用促進支援協議会
☎024-524-2121

ふるさとPICK UP

いわきの漁業の現状を学ぶ

11月2日に行われた、市漁業協同組合主催の市民学習。参加者は、放射能検査体制と魚介類の安全性、そして水産業の現状について学びました。

県水産試験場の渡邉昌人主任研究員による講演

市内で防災訓練

11月5日、市総合防災訓練が市内各地で行われ、このうち草野小体育館では約180名が参加して、防災講話、炊き出し訓練、避難所開設訓練などが行われました。

草野小体育館で、避難所の開設訓練に取り組む参加者

緊急取材 いわき市で震度5弱の地震 小名浜で60センチの津波を観測

11月22日、午前5時59分頃、福島県沖を震源とする地震が発生しました。いわき地方では最大震度5弱。一時、津波警報が発令され、6時49分頃、小名浜沖に60㎝の津波が到達しました。気象庁の観測によると、震源は福島県沖、震源の深さは25㎞、地震の規模を示すマグニチュードは7.4とされます。

この地震の発生直後、市内には38ヵ所の避難所が設けられ、計2,176名が避難しました。

避難所となった久之浜・大久ふれあい館では、早朝や休日などカギのかかった状態の際は、蹴破り戸を破って入館することになっています。同月5日に行われた避難訓練において、この方法を訓練していたため、スムーズに館内に避難することができました。日頃の備えがいかに重要かということを、改めて考えさせられました。

早朝や夜間、休日などの緊急時入館法を市職員から説明を受ける参加者

22日の地震の際には、避難訓練参加者が実際に戸を蹴破り避難しました

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます！

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動すると右記のマークが表示されます。
③このマークをタップします。
④画像をスキャンします
⑤認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。